

社
SHA

楽
RAKU

神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。

Vol.24

2013/12

社史室担当が今年を振り返る

高「今年、社史を担当していて、とくに嬉しかったことってありますか。」

池「社史室が9時からの開室に戻ったのが嬉しかったです。午前中から利用している方も、けっこういらつしゃいます。」

高「我々以外にも、社史室の運営に携わっているスタッフが増えてきているのも、嬉しいです。」

池「今年、特に印象に残っている社史はなんですか？」

高「今年の新着からだど、「社楽」19号でも取り上げた『千島土地株式会社100周年記念誌』と、『コミーは物語をつくる会社です。』の二冊かな。」

『コミーは物語をつくる会社です。』は、本を見てすぐに講演依頼していました。ここでPRですが、1月24日(金)に、社史ができるまで講演会の9回目として開催します。コミーは店舗の防犯用ミラーや飛行機の手荷物入れの忘れもの防止用ミラーを製造している有名な中小企業です。講演の詳細や申し込み方法は当館のホームページ等でご確認ください。」

池「コミーの社史を手にしたときから、周りに見せていましたからね。講演が開催できてよかったです。」

高「銀行のATMや駅の券売機でコミーのミラーを見るたびに、社史に載っていた

開発物語を思い出してしまいます。
じゃあ、次は池ちゃんが、特に印象に残っている社史は何？」

池「私は、新着ではないのですが、『竹中工務店九十年史』。竹中家の始祖が織田信長に普請奉行として仕えていた頃から書き始められています。それから、オムロンの前身の『立石電機の30年』。1963年に刊行されたとは思えない素敵な装丁です。巻頭の「祝いのことば」は、なんとドラッカーなんですよ。」

高「へえ、オムロンって、京都の地名の「御室」からとった名前なのか。そういうえば同業種の『タニタのあゆみ』も今年、入手しました。1974年刊行です。福利厚生のある章もありますが、社員食堂の記載はありませんでした。」

(裏面に続く)

(表面から続く)

池「社史ができるまでの講演会も、今年は4回、開催できました。東京書籍・花王・チツソ・サカタのタネ。」

高「こちらの想定を上回る応募があつて会場が窮屈でご迷惑をおかけしました。担当としては悩ましいです。」

池「11月に開催したサカタのタネの講演会では、サカタのタネが世界のプロッコーのタネの6割を作っていると教わりました。神奈川県地元企業を知ることができ、とても嬉しいです。会社の歴史がわかるのも、この講演会の楽しみです。」

高「社史の編纂担当者だから話せる裏話も多かったし、社史を作成後の対応にも言及していた有意義な講演会でしたよね。ところで、池ちゃんは今年、「社楽」をあんまり書いてなかったけど。」

池「来年の3月に、ある特集を書きたいと思っています。今、コツコツと準備中です。」

高「最近、「社楽」を読んでいます」って、声をかけらえることが多いです。あと「社史をどうやって作ったらいいか？」という質問も増えました。できる範囲でしか答えられませんが、それも、こうした活動の成果かもしれません。」

池「社楽のネタって、どんな風に思いつくのですか。」

高「一万六千冊も個性的な本があるから、ネタには困りません。その場の思いつきで考えています。」

池「いつも、いろんなことをよく思いつくので、路線が変わることもありますよねえ。だから、仕事では確認をこまめに行うことを心がけていますよ。」

高「失礼しました。最後になりますが、社史のご寄贈、社史室のご利用、「社楽」のご愛読など、ほんとうにありがとうございます。よいお年をお迎えください。」

(科学情報課 高田&小池)

来年もよろしくお願い申し上げます。

●新着社史から ～ 紙面の関係で2冊だけですが ～

書名	会社名	資料番号	刊行年月
六十五年のあゆみ	日本特殊炉材株式会社	81577488	2009年10月
耐火物産業の歴史と発展を、会社の歴史とともにたどることができる、読みやすい一冊。			
二十一年史	株式会社エスワイフード	81576399	2002年8月
名古屋の手羽先屋「世界の山ちゃん」の社史。手書きの社内報なども収録。			

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>